

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名：NIIGATA MUSIC LABORATORY

上位関連計画にみる地域の将来

- 地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
- 新潟県第5次エネルギー基本計画。2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率を22～24%、実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）を35%減としている
- 新潟市人口：平成26年81万、将来予測：77万 2030年、67万 2045年 社人研推計による新潟市将来推計人口
- 新潟市総合計画 総合指標 社会動態（転入と転出の差引）現在：714 人転出超過 目標：転出超過の解消
- 新潟市総合計画 総合指標 持続可能なまちづくりが進んでいると思う市民の割合 現在：21.8% 目標：50%

※新潟市人口は四捨五入で表記

②具体的な取組

- ・COFFEE HOUSE(ワークショップ)/special edition(トーク)開催（マンダラ/ステークホルダー）：当団体
- ・参加者へのヒアリングから事業創造や市民活動スモールスタートの支援：当団体
- ・ステークホルダーMTG開催：当団体
- ・プラットフォームの構築と運営：当団体
- ・ファシリテーションとしてのプラットフォーム運営：当団体
- ・ファシリテーションの学習と実践：当団体

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値	実績値	単位
				●●年度末	●●年度末	
環境	規格外品	活用事例	0	3	5	
	規格外品	新規事業	0	3	2	
	自治関連団体	COFFEE HOUSEへの参加	0	3	1	
経済	若者の人材確保	確保数	0	3	1	
	農業漁業への人材紹介	紹介数	0	3	0	
	企業CSR	COFFEE HOUSEへの参加	0	3	0	
	空き地活用	回数	0	3	3	
社会	COFFEE HOUSE	参加人数	0	50	45	
	COFFEE HOUSE 特別	参加人数	0	50	49	
	行政とのマンダラ会議	回数	0	2	2	
	行政との連携事業	回数	0	2	3	

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

当団体の強みである「共感カルチャー」は音楽をベースに新潟各地で醸成してきているが、早ければ開始から3年ほどで共感のシーンが形成され結果が顕在化してくる。これらの成果は県民性や時代背景にもよるが、ある程度予測できる現象。ここにそれぞれのカルチャーを掛け合わせたフェスティバルやマルシェを開催することでリアルな実数の測定とヒアリングが可能になる。これは次のブーストをかけていくための好材料となる。

テーマやコンセプトの明確なイベントは雑多なそれとは全く違う形で成長し「カルチャー」を醸成する。これが分断された現代で大切な要素となり、オフラインとオンラインを繋ぎ、現場で体験できるリアルメディアとして、数字と満足度に直結してくる。それぞれの取り組みが意味を持って混ざり合う瞬間と同じく、一見意味なく連なる状況が新たな気づきや発見をうみ、自身の興味のないカルチャーにも触れる機会を生み出す。出会いの瞬間だ。

例えば、高齢者も昔は子供だったはずで、小さな子供を見れば自身の当時の記憶や経験が蘇ることがある。この時に次世代への想いが生まれたり思い出したりする。一つの課題を解決するためには人間の根源にある記憶や思い出に直接語りかける仕組みとそこを彩る価値あるコンテンツが必要だ。新潟にはその魅力的な資源がまだまだ眠っていると考えている。掘り起こすための準備を担っていると考えている。

①ありたい未来

市民が当たり前前に街の未来を語り合う時間が必要です。それは古くは居酒屋だったり、街の小さな商店だったのかもかもしれません。時代は変わり、コロナ禍も経て、人々の距離は遠くなる中で、オンラインでの新たな繋がりも生まれました。ですが、この流れは高齢者と若者の分断を加速させ、若者と関わる機会はさらに失われました。

→ 当団体ではこれらの世代が分断してしまった背景を認識し、新たに繋ぐ価値と意義を見出しオフラインとオンラインを繋ぐキーワードとして「街」をテーマに活動していきます。

現在蔓延している社会課題は、ある程度いまある資源(人・物・事)や方法で解決できると考えています。時代やコロナ禍の影響で分断してしまったカルチャーを再び繋ぎ直し、次の世代に繋ぐこと。そのための土壌づくりを官民一帯で実施し継続することで未来が見えてくると思います。

これらを繋ぐため大切なのはお子さんを持つ子育て世代です。彼らが生活や育児に追われ疲弊している状況は改善しなければなりません。新潟市の基幹産業である農業漁業は特に深刻な人材不足ですが、幼少期からこれらと触れる機会を作り、担い手を生み出すこと。規格外品を活用した取り組みに、子育てや居場所づくりを行う新潟市これとより連携を深めて、市民が安心して暮らせる「地域」。それをこのプラットフォームで生成していけたらと考えております。

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値	目標年度	目標値	単位
				(2023年度末)	2030年度		
環境	規格外品	活用事例	0	3	2030	100	
	規格外品	新規事業	0	3	2030	30	
	自治関連団体	COFFEE HOUSEへの参加	0	3	2030	15	
経済	若者の人材確保	確保数	0	3	2030	30	
	農業漁業への人材紹介	紹介数	0	3	2030	15	
	企業CSR	COFFEE HOUSEへの参加	0	3	2030	35	
	空き地活用	回数	0	3	2030	48	
社会	COFFEE HOUSE	参加人数	0	50	2030	700	
	COFFEE HOUSE 特別	参加人数	0	50	2030	700	
	行政とのマンダラ会議	回数	0	5	2030	14	
	行政との連携事業	回数	0	2	2030	21	